

開催日及び場所		平成26年12月3日(水)	横浜植物防疫所会議室	
委員		吉武 雅子(大学講師) 畑中 隆爾(弁護士) 中川 隆(公認会計士)		
審議対象期間		平成26年7月1日～平成26年9月30日		
審議対象案件		5件 うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
抽出案件		3件 うち、1者応札案件2件 (抽出率60%) (抽出率67%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率-%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	-	
		指名競争	公募型指名競争	-
			工事希望型競争	-
			その他の指名競争	-
	随意契約	-		
	業務	一般競争	-	
		指名競争	公募型競争	-
			簡易公募型競争	-
			その他の指名競争	-
		随意契約	公募型プロポーザル	-
			簡易公募型プロポーザル	-
			標準型プロポーザル	-
	その他の随意契約		-	
	物品・役務等	一般競争	1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件	
		指名競争	-	
		随意契約(企画競争・公募)	-	
随意契約(その他)		2件		
(特記事項) 特になし				
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答等	
		マイクロピペット点検・調整作業		
		・マイクロピペット点検・調整作業は何回行うのか。 ・修理・必要に応じた部品の交換は別途請求としているが、落札業者は様々なメーカーの部品の入手は可能か。また部品の交換が高くないか。 ・昨年まで随意契約とのことだが、昨年の業者は入札に参加しているか。	年1回である。 複数メーカーの部品の取扱は可能である。また、点検・調整作業の結果、部品交換はない。 参加している。	
		動物検疫所沖縄支所那覇出張所における検疫探知犬の育成及びハンドリング等委託契約		
・履行期間が5年の根拠は何か。 ・不落随契となっているが、随意契約金額が入札金額より低額となっている。契約の際に予定価格及び仕様の変更を行ったのか。	国庫債務負担行為の上限が5年となっている。 探知犬は1～2歳で訓練を開始し、7～8歳まで活躍できるので5ヶ年間の契約が最も効率的である。 変更は行っていない。業者の自助努力と考えられる。			
アナプラズマ病診断用補体結合反応抗原購入				
・受注生産か。 ・過去の購入が毎年及び隔年となっている理由。	そのとおり。 アナプラズマ病発生頻度に伴い診断数が増減するためである。			
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し所長が講じた措置]		特になし		